



小郡市立立石中学校

令和4年 8月29日

立石中学校だより

たっちゅう 第30号

校長 山村 栄揮



学校教育目標 ～ 夢を持ち 未来に向かう、心豊かで たくましい生徒の育成 ～

## 高い目標を持ち、まずは足元から

今日から2学期のスタートです。気持ちを切り替え、3年生は二大行事成功のため、自分の進路実現のために充実した学校生活を送ってほしいものです。また、1・2年生は3年生が部活動を引退し、各部とも新チームで目標を決め、その目標に向かってスタートしたことでしょう。一人一人が、目標を持って今日の始業式を迎えてくれたことと思います。



これから新たな目標に向かっていく皆さんに、今日は「エベレスト理論」を紹介したいと思います。原田隆史さんという元教師で、陸上の全国大会などで13回もチームを優勝させた人がいます。この原田さんが「エベレスト理論」として、次のようなことを言われています。

世界最高峰のエベレストに登ることを目標に決め、準備している人にとって、日本最高峰の富士山に登ることは簡単ですが、富士山を目標にしている人が、それ以上に高い山に登れることは決してない。つまり、どこを目指すかを決めた時点で、その後の行動が決まるということです。そう言えば、今年の生徒会スローガンは「維新～更なる高みを目指して～」でした。これも、目標を高く持つことの大切さを意識させてくれるものです。目標を持たずに必死で努力していたら、知らないうちに全国優勝や目標が達成できていたなどということは決してありません。優勝する人や目標を達成する人は、優勝・目標を達成するイメージを持ち続けて努力しているのです。当然、努力したら、それが実現するとは限りませんが、努力をしなければ実現する可能性はゼロです。

「エベレスト理論」で、私が興味深く、とくに「その通りだな」と感じたところは、全国優勝が目標でも、そのための**努力目標は、陸上の記録向上だけではなく、生活面でも「皿洗いや風呂掃除を毎日続ける」という目標を立てる指導をしていた**そうです。優勝という高い目標を達成するためには、日々の生活を目標を持って過ごすことや、ひとつの物事をやり続けることで人間を磨くということが大切であると教えてもらっているような気がします。

皆さんは、「エベレスト理論」を聞いてどう感じましたか。ぜひ、この理論を参考に高い目標を持ち、まずは、足元の1日1日を大切に過ごしましょう。

## 8. 6 平和学習

8月5日（金）の出校日に平和学習を行いました。本来であれば、全校生徒で大刀洗平和記念館に行って学習する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため急遽3年生のみの参加としました。1・2年生は残念でしたが、学校で朝日新聞刊行「知る原爆」という資料をもとに学級活動を行いました。昨年度の学校だよりでも紹介した通り、大刀洗平和記念館は、かつて東洋一と言われた旧陸軍大刀洗飛行場に建てられた資料館です。旧陸軍大刀洗飛行場の歴史は、大正時代にさかのぼります。飛行場の完成は大正8年10月。大正末期には日本最大の航空部隊が駐屯する飛行場となりました。昭和10年代に入ると、陸軍航空兵に対する飛行機操縦教育の拠点ともなり、後に特攻隊員となる多くの飛行兵が当地から巣立っていきました。



現在、世界に目を向けるとロシアによるウクライナへの軍事侵攻で、子どもたちをはじめ多くの市民が命を落とし、住むところを奪われ、国外への避難も余儀なくされています。「戦争は最大の差別、人権侵害」です。唯一の戦争被爆国・日本。私たちは、1945年8月6日のヒロシマ原爆投下、9日ナガサキ原爆投下、15日終戦・敗戦という歴史の事実学び、平和について、かけがえのない命の大切さについて考えていきましょう。

## 生徒会・体育大会リーダー研修会

9月11日(日)に体育大会を予定しています。文書でもお伝えしますが、本年度も感染拡大防止ため、午前中に簡略化して実施するようにしました。ただし、本年度は来賓・保護者をお招きして開催したいと思っています。その体育大会の成功に向けて夏休みから生徒会拡大執行部や体育大会応援リーダーが準備を進めています。7月22日(金)には、生徒会リーダー及び体育大会リーダー研修会を実施し、1学期の反省とともに2学期の取組について協議しました。とくに目前に控えている体育大会については、リーダーを中心にすでに動き出しています。体育大会実行委員会とブロック長を中心に見通しをもち、計画的に練習ができるように工夫し、リーダーシップを発揮してもらいたいと思っています。

「やり遂げた」「団結できた」という達成感や満足感は、人にやらされていても得られません。自分から行動することが大切になってくるのです。フォロワーの皆さんは、自分たちがどう行動すればリーダーを盛り立て、ブロックや学級、そして立石中学校のまとまりをつくっていくかを常に考えながら、取り組んでほしいと思います。最高の喜びや感動は、一人一人の取り組む姿勢(自分から動く、やるぞ!という気持ち)こそが鍵となるのです。



2022年度体育大会応援リーダー

	ブロック	ブロック
ブロック長	横尾 希海	夔野 菜桜
副ブロック長	太田 朋輝	樽崎 匠悟
3年生 応援リーダー	近藤 英菜 平田 紗千 米倉 真寛	井手上 貴一 重松 夏海 樽崎 星姫

本年度は、有観客での開催としますので、昨年行なった「オンライン中継」「業者によるDVD撮影(販売)」はいたしません。

## 高校説明会 (進路説明会)

8月2・3日(火・水)に高校説明会を開催しました。3年生の総合的な学習の時間の取組の一環として開催しましたが、PTAの高校視察を新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した関係で、全学年の保護者にお声かけしました。

本学区内10の公立高等学校からお出でいただき、各学校の特徴等について、大変わかりやすく説明していただきました。3年生の生徒の皆さんや参加いただいた保護者の皆様は、大変参考になったのではないかと思います。**3年生は、部活動を引退してよいよ自分の進路獲得にむけて本腰を入れて取り組むこととなります。お家の方や先生方とじっくり話をして、早めに自分の進路を明確にしましょう。**



## 英語スピーチ交流会

8月9日(火)に小郡市中学校英語スピーチ交流会が、小郡市文化会館で開催されました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3年ぶりの開催となりましたが、小郡市の中学校から41名の参加があり、本校からは6名が出場しました。ただ覚えた英語を発表するだけでなく、内容を十分に理解し表情豊かに堂々と発表する姿は、とても素晴らしかったと聞いています。その中で**1年生の部において、高木愛望さんが見事優秀賞に輝きました。**おめでとうございます。

出場した生徒の皆さん、本当によく頑張りました。来年はさらに多くの生徒の皆さんの参加を期待します。



学年	氏名
1年生	高木 愛望
2年生	城戸 来未
2年生	田中 心和
2年生	手嶋 由紀奈
3年生	河田 凜
3年生	古賀 大翔



**さあ、いよいよ新学期が始まります。1年間で最も長く、そして様々な行事が目白押しの2学期です。出遅れず、良いスタートをきってほしいと思います。皆さんの更なる成長を期待しています。**



